

京田辺市議会だより 6月定例会



大住中学校の昼食時間より

日	会 議 程	掲 載 面
6月6日	本 会 議 (開 会)	1面
6月13日	本 会 議 (一般質問)	3~6面
6月14日	14名	
6月15日		
6月17日	建 設 経 済 常 任 委 員 会	2面
6月20日	総 常 任 委 員 会	
6月21日	文 教 福 祉 常 任 委 員 会	1・7・8面
6月29日	本 会 議 (採決・会期延長)	
7月5日	総 常 任 委 員 会	2面
7月6日	建 設 経 済 常 任 委 員 会	
7月8日	本 会 議 (採決・閉会)	1・8面

人事案2件に同意 自治功労者・副市長

初日には市長から、嘱託医及び休日応急診療所医など25年2カ月にわたる尽力された福田雅武(ふくだまさたけ)氏(69)と松井里ヶ市市川を自治功労者に推薦する同意案が提案され、賛成全員で同意しました。また、任期満了に伴う副市長に鞍掛孝(くらかけたかし)氏(68)と奈良市神功一丁目を再任する同意案が提案され、日本共産党京田辺市議会議員団から反対討論がありました。賛成多数で同意しました。任期は、平成28年6月8日から4年間です。

条例案など議案上程 各常任委員会に付託

初日には市長から専決承認案3件が提案され、税条例等と都市計画税条例の改正案2件は賛成全員で承認し、国民健康保険税の軽減措置に係る国民健康保険税条例の改正

枚方京田辺環境施設 組合議会議員選出

5日目は、枚方京田辺環境施設組合の設立が平成28年5月31日に総務省から許可されたことに伴い、同組合議会議員の選出を行いました。規約により、定員12名のうち本市議会から5名を選出することになっており、

追加議案の提出で会期延長 市長提出議案すべて可決

5日目は、定例会初日に各常任委員会に付託された議案7件の審査結果について、各委員長の報告を受け、質疑を行いました。討論では、「税条例等の一部改正」に日本共産党京田辺市議会議員団から反対討論があり、全会一致で7月8日まで採決の結果、「税条例等の一部改正」は賛成多数で、他6件は賛成全員で可決しました。そして、「平成28年度一般会計補

正予算(第1号)は、賛成全員で可決しました。次に市長から、「28年度一般会計補正予算(第2号)」が追加提案されました。討論では、「税条例等」が追加提案されたため、6月29日までとしていた定例会の会期を、全会一致で7月8日まで延長し、各常任委員会で所管部分の審査を行いました。最終日に質疑、討論の後採決を行い、賛成

第154号
2016年(平成28年)8月1日
発行 京田辺市議会
編集 広報編集特別委員会
〒610-0393
京田辺市田辺80番地
TEL 0774-64-1380
FAX 0774-63-4782
メール gikai@kyotanabe.jp

櫻井立志議員(公明党)、米澤修司議員(みらい京田辺)の5名が選出されました。

意見書案3件 1可決・2否決

5日目に、議員から意見書案3件が提案されました。採決の結果、「元海兵隊員の米軍属による沖縄県女性殺害事件に強く抗議し、日米地位協定の見直しを求める意見書」を賛成多数で可決し、他2件は賛成少数で否決しました。

常任委員会の審査報告

市議会は、6月17日と7月6日に建設経済常任委員会、6月20日と7月5日に総務常任委員会、そして6月21日に文教福祉常任委員会を開会し、定例会初日に付託された市長

提出の議案7件と一般会計補正予算(第1号)に加え、6月29日に追加提案された一般会計補正予算(第2号)についての審査を行いました。主な質疑は次のとおりです。

議案審査

ピックアップ① 中学校での昼食を改めて検討

【賛成全員・可決】
中学校昼食等のあり方を検討するため制定するもの。

【賛成全員・可決】
中学校昼食等のあり方を検討するため制定するもの。

【賛成全員・可決】
中学校昼食等のあり方を検討するため制定するもの。

【賛成全員・可決】
中学校昼食等のあり方を検討するため制定するもの。



クラスみんなで昼食をとる中学生(大住中学校)

た、検討内容の公開は、

【賛成全員・可決】
山手西における宅地開発に伴い新設された公園を追加するもの。また、中央体育館トレーニングルーム及び公園プールにおける利用料の減免において、精神障害者保健福祉手帳保持者を追加するもの。

ピックアップ② 精神障害者保健福祉手帳保持者も割引

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】



田辺公園プール(左奥)と田辺中央体育館(右)

軽自動車の取得税 環境性能割を導入

【賛成多数・可決】

【賛成多数・可決】

【賛成多数・可決】

【賛成多数・可決】

【賛成多数・可決】

【賛成多数・可決】

【賛成多数・可決】

【賛成多数・可決】

【賛成多数・可決】

【賛成多数・可決】

【賛成多数・可決】

【賛成多数・可決】

【賛成多数・可決】

定後、委員の公算、選考をし、最初の協議は10月頃と考える。検討は、①検証②今後の方式の検討③決定した方式の実施方法の3段階が必要であり、1年間で難しい。委員会は傍聴可能で、会議の内容もホームページで公開する。

プールにおける、これまでの減免対象者利用状況は、

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

その他の議案

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

職員勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

西地区において、綴喜都市計画の地区計画を決定したことに伴い、建築可能な建築物等を規定するため改正するもの。

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

道路線の認定

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

【賛成全員・可決】

補正予算から見る主な事業

★第1号補正額 9,820万円

(総務費)	
○コミュニティ助成事業(出垣内区・草内区)	370万円
(衛生費)	
○住宅用蓄電池等設置補助事業	385万円
○枚方京田辺環境施設組合負担金	5132万円
(土木費)	
○公園施設長寿命化対策事業	3000万円
(消防費)	
○コミュニティ助成事業(アカデミア・興戸区)	150万円

★第2号補正額 4,370万円

(総務費)	
○自転車を活用した地域づくり事業(地方創生加速化交付金対象事業)	3550万円
(商工費)	
○産業情報サイト機能充実事業(地方創生推進交付金)	820万円

補正予算 可燃ごみ広域処理へ 枚方市との組合始動





先日の大雨被害で崩れた箇所
(普賢寺ふれあいの駅裏側)

土砂災害警戒区域等対策を

南部 登志子 議員
(無会派)

○ 災害に強いまちづくりを目指す。①土砂災害特別警戒区域・警戒区域の危険な斜面の補強、木や石の除去を。②大雨被害に備え、河川のしゅんせつや雨水排水路の清掃を実施せよ。③災害ボランティアセンターとの相互応援協定の取り組みを進め、具体的課題への対応を。

〔建設部長〕 ①原則的に個人の財産は個人で守ってほしい。②必要な整備を進めている。

〔健康福祉部長〕 ③協定書締結に向けて協議を進めている。

○ 大型ごみの収集が有料になるが、戸建て住宅では玄関先まで収集に来てもらえないので、集合住宅では指定収集場所まで持って行かなければならない。高齢者等でごみ出しが困難な方々は、シルバー

の方に頼むなど二重にお金がかかる。また、不法投棄があった場所は捨てられたところの負担になるが、対策費用等市民に丸投げをするべきではない。集合住宅への丁寧な説明会の実施と費用負担削減についての対策を求める。

〔経済環境部長〕 大型ごみは家族やご近所の方の協力を出してほしい。説明会については、要望があれば実施する。

○ 市内の市立小中学校に入学したにも関わらず、卒業を待たずして支援学校に転校する生徒たちが複数いる。障がいのある子どもさんも地域の子どもたちとともに学ぶ環境づくりに努めてほしい。

〔教育指導課〕 保護者の方と十分に相談した上で、転校を決めている。

議員14名が市政を問う

一般質問

質問を行った順に、各議員から提出された要約原稿にもとづいて掲載しています。

録画配信でチェック!

市議会ホームページから、録画をご覧ください。

京田辺市議会 インターネット中継 で検索



車いすも通れない歩道
(近鉄新田辺駅東側)

新田辺駅 バリアフリー化を

増富 理津子 議員
(共産党)

○ 障害者生活支援センター「ふらっと」が、近鉄新田辺駅東側の、いきいきサポートセンターに移転した。障がい者の方が安心して施設へ行くことができるように、駅から施設までの道路について、早急にバリアフリー化をするべきと考えるが。

〔建設部長〕 すでにどういふことができるのかということも含めて、利用実態を見ながら進めていきたい。

○ 65歳になると、障害者福祉サービスより介護保険サービスが優先適用されるために利用負担額が増え、利用時間やサービス量を制限せざるを得ない実態がある。市は個々の状況を把握し、対応を。

〔健康福祉部長〕 平成27年度に4名が移行され、そのうち

利用者負担が増えた方は3名。利用者負担の軽減について、国の検討を注視していきたい。

○ 子どもの貧困対策で取り組まれている学習支援事業「サテライト教室」について、対象年齢の拡充と周知の取り組み強化を。

〔健康福祉部長〕 学習意欲の向上といった点は重要である。これまでの状況から、事業を広げていくために、教育委員会と連携しながら検討していく。

○ 街路樹の根が伸び道路を押し上げたり、家庭の下水管に入る被害が出ている。点検調査を急いでほしい。

〔上下水道部長〕 公共汚水ますについては市で対応する。古いタイプから重点的に調査改修している。



駅ナカ案内所に設置されたWi-Fiスポット
(近鉄新田辺駅西口)

Wi-Fiスポットの整備を

河本 隆志 議員
(みらい京田辺)

○ 人が集まる場所や商業施設で、観光客向け無料Wi-Fiサービスを整備しては。

〔経済環境部長〕 市内観光施設などのエリア拡大については、有効な整備方法や補助金等の活用を研究していきたい。

○ 地震と風水害で避難場所が違つことにより、災害発生時に市民が困惑しないよう、具体的な対策は考えているか。

〔危機管理監〕 平成28年度は、災害の種類別に避難場所を記載した誘導標識板を、市内約400カ所に設置する。

○ 公立幼稚園教諭の正規職員採用についての見解は。

〔教育部長〕 幼稚園の学級担任は、正規職員を配置することを原則とし、人口推計などの社会情勢を勘案して、過不足がないよう計画的な採用と、

適正な配置に努めたい。

○ 天津神川は府道八幡木津線水路橋付近が狭く、大雨への対策が必要と考えるが。

〔建設部長〕 府道に架かる水路橋は、府が28年度に耐震補強工事を実施し、29年度以降に拡幅する計画と聞いている。治水の安全面から、早期完了を要望している。

○ 消防団各部の編成を一考し、組織を強化する考えは。

〔消防団〕 一部で団員に不足が生じているが、勧誘活動の強化、部や分団を越えた広域な応援で対応したい。

○ 法改正により、共通投票所の設置判断は、選挙管理委員会が行うことになるが、本市に設置する考えは。

〔選挙管理委員会事務局長〕 今後の研究課題としたい。

用語の解説

中学生会議 (2面2段目)

本市で中学校昼食等検討委員会が設置されるに当たり、中学生のクラス代表等に昼食のあり方に対する生の意見を出し合ってもらった会議。この意見も検討委員会の資料となる。

スイッチOTC薬 (2面5段目)

OTCとは英語の「Over The Counter (オーバーザ・カウンタ)」の略語で、薬局での対面販売で薬を買うことを指す。以前は医師に処方してもらった「医療用医薬品」であったものが、市販薬として薬局での販売が許可されたものを「医療薬から市販薬(OTC)に転用(スイッチ)」されたというところから「スイッチOTC」と言われている。

Wi-Fiスポット (3面左7段目)

店舗や公共の空間などで無線LAN(Wi-Fi)によるインターネット接続が可能な場所。無線LAN機能を持ったノートパソコンやスマートフォン、携帯ゲーム機で利用でき、通信料金を気にせず高速なネット接続での利用ができるため、旅行、観光先にあると便利。



フェンシングでホストタウン
誘致を決めた大山崎町の体育館



鈴木 康夫 議員
(一 新会)

ホストタウンに挑戦を

東京オリンピック・パラリンピックの外国選手を事前合宿地として受け入れ、地方創生につなげるホストタウン構想が国により進められている。ホストタウンによるまちのブランドイメージ向上、スポーツ振興、体育施設改修補助など、誘致のメリットが大きい。本市は、交通便利性に加え、全国小学生ハンドボール大会の開催などのアドバンテージがある。相手国の選択、宿泊施設の確保など戦略を練り、機を逸することなく挑戦してもらいたい。がどうか。

（市民部長） 特別軽減は、国が段階的に縮小するとしているが、本市としては制度の維持を求め、見直す場合は被保険者の負担を抑えるきめ細かな激変緩和措置を講ずるよう要望している。

（建設部長） エレベーター設置の見直しは、JR大住駅のエレベーターについて、JR西日本に対し積極的に要望を行い、協議を進めている。



JR大住駅の階段



横山 栄一 議員
(共産党)

高齢者 特別軽減の維持を

高齢者の暮らしは、年金が削られるなど苦しくなっている。安倍政権が後期高齢者医療保険料の特別軽減を廃止すれば、保険料が2倍から最高10倍に跳ね上がる人が出る大改革という事態に直面することになるが、市の考えは、

（市民部長） 特別軽減は、国が段階的に縮小するとしているが、本市としては制度の維持を求め、見直す場合は被保険者の負担を抑えるきめ細かな激変緩和措置を講ずるよう要望している。

保護者からの参画を増やし、会議の公開とアンケートなどによる市民の参加を重視するべきと考える。

（教育部長） 設置条例を提案している中学校昼食等検討委員会では、本市の中学生に相応しい昼食等のあり方について、検討を進めることとしている。委員構成は、学識経験者や保護者、学校関係者などのほか、公募委員も募集したいと考えている。アンケート等により幅広く意見をいただき、会議は原則公開し、内容も公表したいと考えている。



下校する田辺小学校の児童
(府道八幡木津線)



小林 喜代司 議員
(みらい京田辺)

通学路安全対策は万全に

児童の通学時安全対策は未整備の箇所が残っており、安全確保のために早急な整備が必要と考える。特に、薪茶屋前交差点改良工事完成までの間、田辺本町交差点付近の対策は早急に進めたい。

（建設部長） 府道の田辺小学校西門から南側への歩道設置や、天津神川交差点北側で、用地の協力要請を行っている。

（教育部長） 毎年、安全推進会議で、通学路安全対策が必要な箇所、および対策実施状況を確認しており、グリーン塗装や、注意喚起看板の設置などの対策を行っている。信号機、横断歩道などの設置については、関係機関と連携し、安全確保に努めたい。

（経済環境部長） 農業振興は本市の重要な施策の一つに位置付けて、各種の支援策を講じている。玉露をはじめとする農産物についても、生産振興や販路の拡大など、関係機関と連携して進めている。普賢寺地域の振興については、農業を基本としながら、加工等による高付加価値化や、多くの人々との交流促進などの取り組みが重要と考えている。地産、地消の拡大については「近くで買って、近くで食べる」をコンセプトに、「新鮮」「安心」「美味」をキーワードとし、拡大に向けて取り組んでいく。



草内幼稚園のお泊まり保育
(市野外活動センター)



上田 毅 議員
(一 新会)

幼稚園 職員体制は 留守家庭児童会

文化振興計画の進捗は、文化施設については、複合的施設の整備の中で計画されているが、平成28年度はどのような事務を進めるのか。また、文化協会に配置された文化コーディネーターの具体的な役割と、文化振興につなげる活用方法は、

（教育部長） 「未来へつなぐ京田辺文化」を基本理念とする文化振興計画は、10年間の施策展開を計画しており、文化施設では、文化活動の拠点としての機能について28年度から検討する。文化コーディネーターは、民間団体に配置することで府の補助金を活用でき、文化の専門家とのネットワークやアドバイスの活用ができるという利点があり、計画の推進に有効と考える。

（教育部長） 「未来へつなぐ京田辺文化」を基本理念とする文化振興計画は、10年間の施策展開を計画しており、文化施設では、文化活動の拠点としての機能について28年度から検討する。文化コーディネーターは、民間団体に配置することで府の補助金を活用でき、文化の専門家とのネットワークやアドバイスの活用ができるという利点があり、計画の推進に有効と考える。

（教育部長） 幼稚園の職員体制強化に努めており、今後とも過不足が生じないよう、計画的な採用と適正配置に努めたい。留守家庭児童会では、1クラス2名以上を配置し、状況に応じて補助員を増員している。また、各留守家庭児童会に専任主任を、発達等に課題のある児童には、加配職員を配置している。28年度において、一部人員が不足する場合は、しっかりと研修を行ううえで、シルバークリスタルを活用することで試行を始めたところである。



アルプラザ前のバス停

**ダンプカーや影響対策を
砕石事業等の影響対策を**

西畑 利彦 議員
(共産党)

○ 一休ヶ丘では、ダンプカーの通行や近隣の砕石事業所などの影響で窓も開けられない時もある。市は事態を把握し、対策を講じてきたか。

〔建設部長〕 市民からの苦情があれば、状況を確認し、事業者に要請や指導をしている。

○ 現在の条例では住民を守る項目が抜けている。実態を捉えて対策をすべき。

〔経済環境部長〕 条例では、日々の進捗状況の報告も規定されている。苦情があれば、立ち入り確認も行い、訪問指導を繰り返す。府とも連携して指導していく。

○ 3月定例会では、ごみの分別や粗大ごみ・持込ごみの有料化など、住民が全く知らない中での条例改正が行われた。理解と協力を得るため

に説明会をどのように行つか。また、ごみ量縮減のために製造販売事業者への働きかけは、手数料の減免措置と持込ごみの特例措置は。

〔経済環境部長〕 各区、自治会での説明会や、広域的説明会を日曜日や夜間に3会場を実施する予定。また、要望により個別の説明会も実施する。事業者には、全国都市清掃会議で要請している。減免および特例措置は、生活保護世帯が4割減免、自治会等地域清掃に伴う持込を無料とする。

○ 一休ヶ丘からの買い物など、利便性向上のためにアルプラザ前のバス停を利用してきめるように検討できないか。

〔建設部長〕 課題の1つであり「バス交通等検証委員会」で、今後検討していきたい。



本市の地域防災計画

**熊本地震 防災計画見直しを
ふまえて**

青木 綱次郎 議員
(共産党)

○ 熊本地震は1週間地震5弱以上の地震が17回発生した。避難者数も一時18万人を超え、5万人が10日間にわたり避難する事態となった。政府の「避難所における良好な生活環境の確保に向けた取組指針」では、避難者のプライバシーや清潔さの確保、温かく栄養バランスのとれた食事の提供など、避難所の生活環境向上と、避難所外にいる避難者支援(情報提供や物資の支給など)の必要性が打ち出されている。熊本地震の教訓と政府の方針を踏まえ、防災計画を見直し、複数箇所避難所運営訓練を同時開催するなど充実させ、防災会議には住民代表が参加すべきでは。

〔危機管理監〕 熊本地震を参考にし、避難所における対応

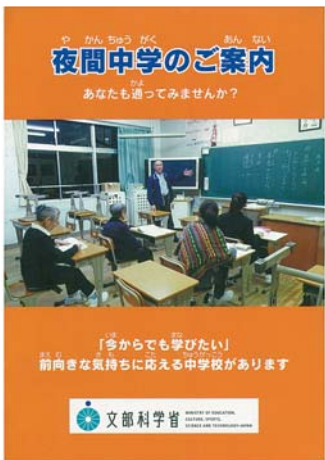
力の強化等と併せて、車の中へ避難した人への対応など、新たな課題についても検討していく。避難所運営訓練の複数同時開催は現状では困難。できる所から着実に実施していく。防災会議には、平成28年度から区・自治会の代表者として、市政協力員連絡協議会会長を委員として委嘱した。

○ 3月、大津地震は高浜原発の運転差止め仮処分決定を下した。市長の見解は。

〔市長〕 地裁の判断であり、私の意見は差し控えたい。

○ 原発事故に備えた、避難住民受け入れ計画の進捗は。本市の住民避難計画策定を。

〔危機管理監〕 広域避難の受け入れ基本計画を策定した。避難計画には国段階での役割が重要で、動向を注視していく。



文科科学省が出している夜間中学のご案内

**職員の不
適切の会計調査結果は**

次田 典子 議員
(無党派)

○ 野外活動センターにおける不適切な会計処理の調査結果を明らかにせよ。第三者の調査に教育委員会はなぜ同席しないのか。当該職員を自宅待機とし降格もせず、給与を払い続けることは市民の理解が得られない。指定管理者制度に移行すべきでは。

〔教育部長〕 調査結果が公表される。客観的調査のため同席していない。施設の運営形態は研究が必要と考える。

○ 不登校生たちの進路の1つとして、夜間中学やフリースクールを認める法案が国会に上程された。法案成立に先駆け実態を調査すべきだ。文科省の「夜間中学のご案内」には、希望があれば中学校卒業業者でも入学できる場合があり、在住先の市教委に問い合わせるよう書かれているが、どう対応するのか。

〔教育部長〕 夜間中学は国の調査結果を把握しており、フリースクールは学籍管理上で一定把握している。

〔教育長〕 夜間中学に対する各市町村の理解が得られておらず、対応は難しいが、引き続き努力はしていきたい。

○ 枚方市のごみ焼却広域化をもっと市民に説明すべきだ。施設を本市に建設することによる健康や環境への影響、安全性について、市の考えは。人件費や土地購入費等を含めればコスト面でも単独炉が勝るのでは。広域化を選択した根拠は。

〔経済環境部長〕 ごみ減量化推進審議会の検討でも、広域処理の優位性が確認された。



下水管直結のマンホールトイレが整備されている公園(さくらの丘公園)

**マンホール
トイレ 避難所に拡充を**

櫻井 立志 議員
(公明党)

○ 熊本地震の際に、車中泊被災者が「エコノミー症候群」を発症するケースが多く見られた。本市における避難所の整備や被災者の健康を守るため、避難所運営マニュアル等の見直しが必要では。

〔危機管理監〕 車中泊避難者の十分な把握と情報収集を図り、物資の支援、保健師等による巡回健康指導に努めたい。今後、府の動向を注視し、地域防災計画や避難所運営マニュアルの見直しを検討したい。

○ 避難所の整備として、衛生的で快適に使用できるマンホールトイレを、学校や都市公園に拡充すべきでは。

〔危機管理監〕 マンホールトイレは、避難所の衛生対策として重要な課題と考える。地震による水源や下水管の破損

など、環境衛生面も含め、今後、調査研究していきたい。

○ 中学生に「英検3級」の検定料を助成しては。

〔教育部長〕 英語教育推進モデル校として、田辺中学校の全学年で、英検I・B・Aという能力判定テストを実施。英語力の向上につながっている。

○ 子どもたちに、我がふるさと京田辺を知り、好きになってもらうため、「子ども京田辺検定」を実施しては。

〔教育部長〕 子どもたちに京田辺を知る機会を設けることは、大切であると考え。実施するには多くの課題があり、今後の検討課題としたい。

○ 府道茶屋前交差点右折レーン設置の進捗状況は。

〔建設部長〕 府において、早期工事着手に向け進めている。

南部住民センターの建設を



岡本 亮一 議員
(共産党)



山手幹線の中央に設置されているガードレール
(同志社山手)

南部住民センターを早急に建設すべきと考え、その認識は、

① 必要性については、十分認識している。

② 南部地域における市民活動の拠点として、その機能を確保していくことは重要である認識している。また、文化振興計画においても、南部地域の活動拠点づくりを進めることとしている。

③ 留守家庭児童会について、児童の安全確保のためにも指導員の増員を求める。

④ 各留守家庭児童会に、副主任を配置すべき。

⑤ 開設時間の延長を求める。

⑥ 指導員の確保は、今後ともハローワーク等も通じて、鋭意努力をしたい。

⑦ まずは専任主任を中心に、その役割や業務の点検を十分に行い、その内容も把握し、今後は検討が必要と考え、

⑧ 保育所では午後7時まで預かっている。学童保育でも時間延長を望む声があることは承知しており、今後の検討課題であると考えている。

⑨ 同志社山手北バス停前の横断歩道に信号機の設置を、また、歩行者やドライバーから死角となる、山手幹線中央に設置されているガードレールの改善を求める。

防犯灯の設置は



河田 美穂 議員
(共産党)



片側しか防犯灯がない道路
(田辺高等学校西側)

① 暗く危険な場所への防犯灯の設置は、

② 地元からの要望箇所等は、予算の範囲内で、できる限り設置していきたい。

③ 田辺高校と馬坂川の間

④ 早急に設置したい。

⑤ 子どものB型肝炎ワクチン予防接種の定期接種化に対しての本市の取り組みは、

⑥ 定期接種の対象から外れる乳幼児に、市独自の助成を、

⑦ 国から正式な連絡があり次第、対象児の家庭への周知など、実施に向け取り組みを始める。⑧ 他市の状況など、研究していく。

⑨ 高齢者の「運転免許証自主返納者」へ、バスチケットやタクシーチケットなどを交付してはどうか。

⑩ 総合的な検討の中で今後の研究課題。

⑪ 本市の高齢者向け自転車講習会の取り組みは、

⑫ 平成28年4月から講習会を開催し、今後も継続した取り組みを推進したい。

⑬ 電動車椅子の安全対策をすべき。

⑭ 建設部と連携をとりながら、可能な限りやしていきたい。

⑮ 歩道などの木の剪定・除根、点字ブロック、手すり、段差などの点検、整備、新設を速やかに、かつきめ細やかにすべき。

耐震シェルター設置助成を



米澤 修司 議員
(みらい京田辺)



耐震シェルターの実例

① 避難所となる公的施設の耐震化の状況は、

② 指定避難所である小中学校は耐震化を完了。

③ 常磐など二時避難所の耐震化率は87.5%、指定避難所では92.9%、地区公民館では71.4%となっている。

④ 福祉避難所とマンパワの確保は、

⑤ 7つの施設と福祉避難所の協定を締結し、特別養護老人ホームや障がい者の通所施設など6カ所で200人分のスペースを確保している。具体的な避難場所としては、集会所など施設の空きスペースを利用する。介護者等の人材は、各施設と協議を進めて確保を図る。

⑥ 耐震シェルター、防災ベットの普及と助成制度は、

⑦ 危機管理監 平成28年度から府が助成対象としたことから、耐震シェルター等の助成について検討していく。

⑧ 災害時相互応援協定締結自治体の拡充と、災害時の後方支援拠点について問う。

⑨ 現在、霧島市・習志野市と協定を締結し、交流を図っている。今後も締結自治体を拡充していきたい。後方支援拠点については、可能な限り役割を担うべきと考える。府や関西広域連合等と連携し、役割を果たしたい。

⑩ 小学校の米飯給食時には牛乳でなくお茶を、

⑪ 子どもの成長期に牛乳は重要と考えている。お茶については、学校や家庭で準備したお茶を、自由に飲むようにしている。

広報編集特別委員会管外視察研修報

5月11日に岐阜県可児市議会で研修しました。ここ数年で2度もリニューアルするなど、積極的な議会だよりの取り組みをされていました。



5月12日には、町村議会広報全国コンクールで過去9回も入賞されている愛知県幸田町議会で研修しました。町民への取材や、小中学生の作文を掲載するなど、読者目線の編集をされていました。

今後の議会だよりの編集に役立つ研修となりました。

議会日誌

【5月】	11日	広報編集特別委員会管外視察(12日)
	17日	建設経済常任委員協議会
	24日	議会運営委員会(27日)
	27日	幹事会
	31日	山城地区議長連絡協議会役員会・総会 全国市議会議長会
【6月】	3日	京都府市議会議長会
	6日	幹事会(23日)
	13日	第2回定例会(開会・議案上程)
	17日	第2回定例会(一般質問)(14日、15日)
	20日	建設経済常任委員会・協議会
	21日	総務常任委員会・協議会
	23日	議会運営委員会(27日)
	29日	第2回定例会(会期延長・議案採決)
【7月】	1日	枚方・京田辺環境施設組合設立式
	5日	総務常任委員会
	6日	建設経済常任委員会
	7日	議会運営委員会
	8日	第2回定例会(議案採決・閉会)
	11日	広報編集特別委員会(14日、25日)
	15日	幹事会
	20日	総務常任委員会管外視察(～22日)
	25日	文教福祉常任委員協議会
	29日	建設経済常任委員会管内視察

(以上主なもの)

議会報告会を開催しました

4月26日 中央公民館



平成27年度から実施している各常任委員会での所管事務調査（市の実施している事業等についてテーマを限定した調査を行っています）についての進捗状況を中心に、予算特別委員会での審査内容や、市民に関係の深い議案の審査内容などを各委員長が順に報告しました。

また、質疑応答の時間では、37名の一般参加者の中から積極的な質疑があり、活発な意見交換ができました。

次回の開催は未定ですが、今後も「開かれた議会」を目指し、直接みなさまの声を聞かせていただく良い機会と考えていますので、その際はぜひご参加ください。

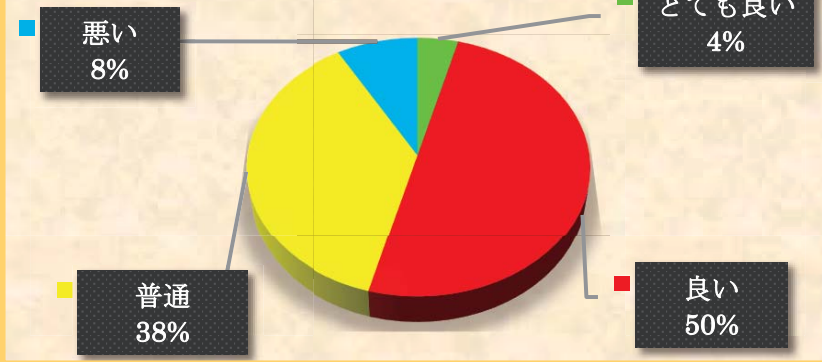


参加者からの質疑（抜粋）

- チラシにあった「あなたと話したい」という姿勢は良い。市役所より議会の方が私たちに近いのだから、議会こそ市民参画を。
- 1委員会10分間での報告は難しい。資料は読んでわかるものにして別のことを話したらどうか。
- また開催してほしい。ゴミ有料化とはどういう中味か。
- 議員や行政がどんな街にしようとしているのかというビジョンが見えてこないで質問も出づらい。自然がどんどん壊され農地も減っている。伝統文化もどうなっているのか。田辺のまちをどうしようとしているのか見えてこない。

★報告書はホームページで公開しています★

参加した感想は？



可決した 意見書(要約)

元海兵隊員の米軍属による沖縄県女性殺害事件に強く抗議し、日米地位協定の見直しを求める意見書

沖縄県うるま市の女性が遺体で見えられ、米軍属の男性が、死体遺棄、殺人、強姦致死容疑で逮捕される事件が発生したことは沖縄県民をはじめ日本国民に強い衝撃と悲しみ、怒りを与えた。このような蛮行は、断じて許されるものではない。

沖縄県では復帰後だけでも米軍の犯罪事件が5910件発生し、うち凶悪事件は575件にのぼる異常事態となっている。

沖縄県議会などは、事件、事故が発生するたびに綱紀粛正、再発防止などを強く申し入れてきたが、このような凶悪事件が再発したことは許しがたい。

日米両政府は、「綱紀粛正」、「再発防止」を徹底するとしてきたが、実効性は疑わしく、米軍人・軍属等の犯罪の根絶には、日米地位協定の抜本的な見直しや、米軍基地の整理、縮小が不可欠である。

よって国におかれては、以下の項目を実行されることを強く求めるものである。

記

- 1 日米両政府が、遺族及び県民に対して改めて謝罪し完全な補償を行うこと
- 2 日米地位協定の抜本的な改定を行うこと

平成27年度 政務活動費収支報告

政務活動費とは、京田辺市議会議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、会派及び会派に所属しない議員（無会派議員）に対して交付されます。交付金額は、会派の場合、年度初日における会派所属議員数×年額18万円、無会派議員の場合、年度初日に在職する無会派議員一人年額18万円です。（平成27年度は4月に統一地方選挙があったため、平成27年4月分と平成27年5月～平成28年3月分に分かれています。なお、支出のあった科目のみ掲載しています。）

★平成27年4月分 ※統一地方選挙のため1ヶ月分のみを支給

(単位:円)

会派名又は議員名(所属議員数)	一新会(6人)	日本共産党京田辺市議会議員団(5人)	自民・新学会(2人)	民主党議員団(2人)	公明党(2人)	次田 典子(無会派)	南部 登志子(無会派)
収入	交付決定額	交付申請無	75,000	交付申請無	30,000	交付申請無	15,000
支出科目	調査研究費		267		0	21,950	0
	資料購入費		985		5,837	0	1,080
	事務所費		34,776		508	0	0
	支出合計額		36,028		6,345	21,950	1,080
	収支差引残額(返還額)		38,972		23,655	0	13,920

★平成27年5月～平成28年3月分 ※統一地方選挙後の11ヶ月分を支給(会派構成が新しくなっています)

(単位:円)

会派名又は議員名(所属議員数)	一新会(6人)	日本共産党京田辺市議会議員団(5人)	みらい京田辺(3人)	公明党(2人)	自民・新学会(2人)	次田 典子(無会派)	南部 登志子(無会派)
収入	交付決定額	990,000	825,000	495,000	330,000	330,000	165,000
支出科目	調査研究費	491,692	155,820	0	142,380	116,272	115,400
	研修費	1,000	12,000	0	0	0	164,984
	広報費	367,715	407,701	0	0	0	0
	広聴費	0	8,640	0	0	0	0
	資料作成費	0	0	0	0	0	216
	資料購入費	6,912	62,372	182,024	85,844	0	83,470
	事務所費	120,746	152,253	36,331	59,803	0	0
	支出合計額	988,065	798,786	218,355	288,027	116,272	199,086
	収支差引残額(返還額)	1,935	26,214	276,645	41,973	213,728	0

政務活動費を充てることができる経費の範囲

- 調査研究費:市の事務、地方行政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費（資料印刷費、交通費、宿泊費等）
- 研修費:研修会を開催するために必要な経費及び他団体等が開催する研修会の参加に要する経費（講師謝金、会場費、交通費、宿泊費、参加費等）
- 広報費:会派又は無会派議員が行う活動及び市政について住民に報告するために要する経費（広報紙・報告書等印刷費、会場費、交通費等）
- 広聴費:住民からの市政及び会派又は無会派議員の活動に対する要望、意見の聴取、住民相談等の活動に要する経費（資料印刷費、会場費、交通費等）
- 資料作成費:会派又は無会派議員が行う活動に必要な資料の作成に要する経費（印刷製本代、翻訳料等）
- 資料購入費:会派又は無会派議員が行う活動に必要な図書、資料等の購入に要する経費（書籍購入費、新聞雑誌購読料、有料データベース利用料等）
- 事務所費:会派又は無会派議員が行う活動に必要な事務所の設置及び管理に要する経費（事務所の賃借料、維持管理費、文書通信費等）

6月定例会の議決結果

☆全議員が賛成して可決等したもの

議案番号	議案名
承認第1号	専決処分の承認を求めることについて(税条例等の一部を改正する条例)
承認第2号	専決処分の承認を求めることについて(都市計画条例の一部を改正する条例)
同意第3号	自治功労者の推薦について
議案第39号	福祉有償運送運営協議会設置条例の制定について
議案第40号	中学校昼食等検討委員会設置条例の制定について
議案第41号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について
議案第43号	地区計画区域内における建築物の制限に関する条例の一部改正について
議案第44号	都市公園条例の一部改正について
議案第45号	道路線の認定について
議案第46号	平成28年度一般会計補正予算(第1号)
議案第47号	平成28年度一般会計補正予算(第2号)

★議員ごとに賛成と反対が分かれたもの

議案番号	議案名	結果	議員																		
			一新会	日本共産党京田辺市議会議員団				みらい京田辺		公明党		自民・新風会		議							
			松村博司	市田博毅	上田茂樹	岡本伊佐男	奥西康夫	鈴木綱次郎	青木亮一	岡本利彦	西畑理津子	増富榮二	横山隆志	河本喜代司	小林美穂	米澤立志	櫻井良太	奥村和彦	喜多典子	南部登志子	
承認第3号	専決処分の承認を求めることについて(国民健康保険条例の一部を改正する条例)	承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
同意第4号	副市長の選任について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第42号	税条例等の一部改正について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書第3号	元海兵隊員の米軍属による沖縄県女性殺害事件に強く抗議し、日米地位協定の見直しを求める意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書第4号	後期高齢者医療保険料「特例軽減」の継続を求める意見書	否決	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
意見書第5号	環太平洋パートナーシップ(TPP)協定に関する意見書	否決	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ 賛成の場合「○」、反対の場合「×」で表しています。

傍聴席から

本会議(一般質問)を傍聴して
子ども連れの方が傍聴に来られていたが、託児スペースや職員配置も必要では。(65歳・男性)

生活に関わる大事なことが話されているのに、広報などをあまりされていないのか、傍聴されている方が少ないのが残念です。(女性)

府議会でも託児サービスが始まったので、検討してほしい。(42歳・女性)

常任委員会を傍聴して
色んな意見が出て、活発に議論されているところもあり、良かったと思います。(41歳・女性)

本会議(採決等)を傍聴して
まだまだ傍聴に対する敷居が高い気がした。気軽に傍聴すれば良いのと感じた。また来たいです。(38歳・女性)

子どもと一緒に傍聴したが、騒がないよう、ウロウロしないようするのは大変です。(女性)

議会を傍聴するには



★インターネットで議会を見ませんか★

本会議は、ライブ中継・録画配信(約1週間後から)を行っています。また、本会議、委員会の会議録もインターネットで閲覧ができます。本会議は次の定例会の開会日から、委員会は約半年後から検索できます。

京田辺市議会 でクリック!

直接、議会を傍聴しませんか 9月定例会の予定

日程	会議内容
9月 2日(金) 13時30分~	本会議(開会・議案上程)
9月 7日(水) 10時00分~	本会議(一般質問)
9月 8日(木) 10時00分~	本会議(一般質問)
9月 9日(金) 10時00分~	本会議(一般質問)
9月 13日(火) 10時00分~	総務常任委員会
9月 14日(水) 10時00分~	文教福祉常任委員会
9月 15日(木) 10時00分~	建設経済常任委員会
9月 28日(水) 13時30分~	本会議(採決等・閉会)

議会運営委員会
8月26日(金)、31日(水)、9月21日(水)、26日(月)
いずれも13時30分~
※ 会議の開催日や開催時間などは、変更する場合があります。

ご意見・ご感想をお待ちしております

市議会だよりが、より読みやすく、親しみやすい紙面となるよう心がけています。ご意見、ご感想をお寄せください。
(電話) 64-1380 (FAX) 63-4782
(メール) gikai@kyotanabe.jp

便利でええやん!
京田辺
キャッチフレーズ
決定!
市政20周年のロゴマーク
平成29年4月1日
市制20周年
20
茶
田んぼに映るまちの風景

あとがき
暑い夏真っ只中、熱中症にはお気を付けてください。さて、本委員会では市民アンケートを行い、先進地への視察研修、委員間討議を重ね、毎月できる限り紙面の改善に取り組んでまいりました。文字数を減らし、写真を多く取り入れ、また、一般質問の顔写真は、実際に質問している写真を撮影し、ライブ感あふれるものになりました。これからも、手に取って読んでいただける議会だよりを目指します。(河田) 広報編集特別委員会
委員長 増富理津子
副委員長 小林喜代司
委員 上田 毅
委員 河田美穂
委員 喜多和彦